

E I A S T E O 2020. September

Forecast Highlights

・8月のブレント原油スポット価格の平均は1バレルあたり45ドルで、7月平均よりも2ドル上昇しました。8月のブレント価格は、過去数年で最も低い4月の平均価格から26ドル上昇しました。石油価格の上昇が発生したのは、世界の石油市場が、第2四半期の日量720万バレルの液体燃料在庫積み上げから第3四半期に370万b/dの在庫減少に転じたこととEIAが推定しているためです。EIAは、2021年に30万b/d減少と市場が比較的均衡するようになる前の第4四半期の在庫減少が310万b/dになると予測しています。EIAは今後数か月の間に予想される在庫取り崩しにもかかわらず、在庫水準が高く、原油生産能力の余剰が原油価格への上昇圧力を制限すると予想しています。EIAは、2020年の第4四半期のブレントスポットの月間平均価格が平均44ドルになると予測し、2021年には石油市場のバランスが改善されるにつれて平均49ドルに上昇すると予測しています。

・EIAは、8月の世界の石油および液体燃料の消費量は平均9,430万b/dであると推定しています。液体燃料の消費量は、2019年8月から820万b/d減少しましたが、2020年第2四半期の平均8,510万b/dおよび7月の9,330万b/dから増加しました。EIAは、2020年全体の石油および液体燃料の消費量が、2020年全体で平均9,310万b/dと予測し、2019年から830万b/d減少し、その後2021年に650万b/d増加すると予測しています。2021年のEIAの成長予測は8月のSTEOよりも50万b/d少なくなっています。下方修正は、主に中国での予想される消費量の伸びの低下の結果であり、EIAは現在、2021年に100万b/d増加すると予測しています。

・EIAの推定によると、8月の世界の液体燃料の生産量は平均で9,150万b/dで、前年比970万b/d減少しました。この減少は主に、OPECプラスによる自主的な生産削減に加えて、原油安による米国での掘削活動と生産削減の減少を反映しています。EIAは、世界の液体燃料の生産が2021年に年間平均9,930万b/dに増加すると予測しています。

・米国の原油生産量は、2020年の第1四半期の1,270万b/dから5月の最近の最低値である1,000万b/dに低下した後、ここ数か月で増加しています。EIAは、8月の米国の原油生産量が1,080万b/dに増加したと推定しています。シェールオイル生産会社が第2四半期の原油安の中で生産を抑制した後、価格の上昇に対応して油井をオンラインに戻したため、生産は増加しました。ハリケーンローラの影響でメキシコ湾で生産が停止したにもかかわらず、米国の総生産量の増加が発生しました。EIAは、メキシコ湾での生産が回復するため、9月の生産量が1,120万b/dに増加すると予測しています。しかしながら、EIAは、9月以降、米国の原油生産量がわずかに減少すると予測しており、2021年前半の平均は1,100万b/d未満であり、EIAは、新しい坑井の稼働では既存の坑井からの減少を相殺するのに十分な生産量が得られないと予想しているためです。EIAは、2021年の後半に掘削活動が増加すると予測しており、米国の原油生産は2021年の第4四半期に平均1,130万b/dに達します。年間平均ベースで、EIAは米国の原油生産が2019年の1,220万b/dから2020年1,140万b/d、そして2021年1,100万b/dに落ち込むと予想しています。